

特別活動研究会 会報1号

KAWASAKI 特活

学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索



総合教育センターカリキュラムセンター 指導主事 高橋 徹

「個別最適な学び、協働的な学び」を特別活動で！

令和2年4月、小学校では新学習指導要領が全面実施（特別活動は先行実施から3年目）となりました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、臨時休業という異例のスタートでした。各学校においては、分散登校時には映像や掲示物等を活用して子どもたちが学校生活に円滑に適応できるようにしたり、子ども同士の心をつないだりする工夫をされたことに心より感謝いたします。特別活動研究会の皆さまには「今できる特別活動の実践紹介」を3回にわたって発信していただき、各学校ではおおいに参考になったと伺っています。学校や特別活動の意義や役割について深く考えさせられた1年でした。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止に対応した「学校の新しい生活様式」を踏まえた取組が継続されます。その際、個を生かし、よりよい集団を育てるには、特別活動を中心とした主体的な取組の継続が重要になります。令和の日本型学校教育のキーワードは「個別最適な学び」「協働的な学び」です。特別活動は今までも「個と集団」を高めることを重視して指導をしてきました。まず教師が子どもたち一人一人の「居場所」をつくり、その後子どもたちが役割を分担し協力して主体的活動に取り組むことで「絆」をつくることができます。互いのよさや可能性を發揮しながら主体的な活動を継続することで、「人間関係形成 社会参画 自己実現」という特別活動で育成を目指す資質・能力を高めていってほしいと思います。

特別活動におけるGIGA端末の活用

「個別最適な学び」「協働的な学び」を進めるうえで欠かせないものが、GIGA端末です。本市でも「かわさきGIGAスクール構想」に基づきGIGA端末を活用した授業の推進を目指しています。特別活動において留意すべき点は、「集団活動や実践活動」の代替としてではなく、目標に近づくための道具（ツール）として活用するという事です。

特別活動におけるGIGA端末の活用方法として、例えば、学級活動(2)(3)の事前の活動で、児童の実態把握のためにGoogleForm等を活用して調査を行うことが挙げられます。そして回答結果を本時の導入に提示することで、題材について問題意識をもつことができ、具体的な目標の意思決定につながる事が期待できます。

また、学級活動(1)の活用事例としては、ミライシードのオクリンクを活用することが考えられます。提案された活動について、子どもたち一人一人が賛成意見を提出BOXで送信し、クラス全員の意見を画面で確認して話し合いを進め、合意形成を目指すことも可能です。

特別活動の特質は「なすことによって学ぶ」なので、GIGA端末についても「まずは、活用してみる」が重要です。活用を継続することで、特別活動の目標の実現にせまる実践が見えてくるのではないのでしょうか。

特別活動におけるGIGA端末の活用事例をお聞きすることを楽しみにしています。

ぜひご参観を！ 7月7日(水) 第1回 小教研授業研究会 住吉小学校
アクセス：東急東横線 元住吉駅 徒歩7分 今年度、初めての授業研究会です。

広報部よりつぶやき： 今年は2年ぶりに通常の夏休みですね。あと少しですね。子どもたちが、夏休み前に素敵なイベントを「学級会ポストに」提案して「クラスへの所属意識を高めて」夏休みに入りたいですね。「楽しいイベント」のためにぜひ、「学活」を！